

【開催報告】

エネルギー研究クラスター／第1回若手研究会

令和元年12月13日、「エネルギー研究クラスター／第1回若手研究会」を東京大学本郷キャンパス工学部2号館展示室にて開催しました。

大久保達也研究科長の開会挨拶に続き、本研究クラスターのリーダー・松橋隆治教授より若手研究会の趣旨説明がありました。

その後、下記3名の若手研究者より各人の研究内容を紹介して頂き、若手研究者とシニア研究者との間で専攻を跨いだ自由闊達な意見交換をしていただきました。

① 菊地 由佳（社会基盤工学専攻 助教）

「エンジニアリングモデルを用いた風力発電システムの経済性評価」

② 佐藤 正寛（先端科学技術研究センター・エネルギーシステム分野 助教）

「次世代エネルギーシステムを拓く新材料開発技術～計算科学を用いたハイスループットスクリーニング～」

③ 栗山 翔吾（システム創成学専攻 特任助教）

「アンモニアのエネルギーキャリア利用を志向した温和な条件下での触媒的窒素固定反応の開発」

当日はエネルギー研究クラスター構成メンバー9名、関連スタッフ5名、発表者3名、その他2名、合計19名の方々に参加して頂きました。

本若手研究会は今後も年に数回のペースで開催する予定で、次回以降は懇親会も実施したいと考えております。